

□ 要請番号 (JL04518A27)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G161 体育		個別	新規	2年	・2018/3 ・2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・文化・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

スフバートル第4学校

3) 任地 (セレンゲ県スフバートル) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道 で 約 9.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1991年設立で小・中・高校一貫教育を実施している12年制の2部制の統合学校。生徒1035名、生徒の年齢は6-18歳、教師50名、その他スタッフは14名。年間予算は約4,700万円。JICAが実施した「子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト(2009年7月終了)」の対象校であり、理数科教師、体育、小学校教諭の青年海外協力隊(JV)活動実績がある。JV(小学校教育 2017年3月終了)が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同校では、一般教科の教育の質の維持向上に努めており、現在活動中の小学校教育JVが、子どもの創意工夫を促す授業に取り組んでいる。一方で、スポーツを通じた生徒の才能・能力開発にも力を入れており、体育授業の拡充も目指している。体育の授業においては、バレーボール、バスケットボールを始めとする球技が中心となっており、生徒の身体能力を伸ばし、健康増進を図る授業実施に課題がある。また、寒冷地であるため、冬期は学校以外での運動が困難で、体育授業は重要であるが、体育館の中の限られたスペースと用具での工夫した授業実施に弱点がある。このような状況の下、日本の教育現場で経験を積んだ教員を受け入れる事によって、日本の指導法の良い部分を取り入れ、更なる教育の質の向上を目指すため、JVが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 同僚教員とのチームティーチングにより、生徒に対して体育の授業を担当する。
2. 生徒の身体能力に関する調査、分析に協力する。
3. バスケットボールまたはバレーボールの課外活動の実施に協力する。
4. 可能な範囲で日本語・日本文化紹介を行う。

※担当する学年や授業時間数は、赴任後、配属先とJV間で話し合い決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プロジェクター、プリンター(以上共有)、バスケットボール、バレーボール、平均台、マットレス、教員執務室

4) 配属先同僚及び活動対象者

教務主任(女性、40代)
体育教員 3名(実務経験 15-18年、30代後半)

小学校15クラス、中学校9クラス、高等学校9クラス

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(保健体育))

[学歴]：(大卒) 備考：同僚の教育水準と合わせるため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験)3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

[参考情報]：

- ・バレーボール/バスケットボール競技経験3年以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30~30°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

冬期は、授業実施場所が狭い体育館(バレーボールコート大)の中に限られることから、体操、ダンスなど楽しみながら健康維持ができる、工夫した授業の実施が求められている。